

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員に表せる機会が十分持てていない。	催しの機会を作りご家族様との交流を図りながら、情報交換・意見交換を行う。	祭りなどの催しの機会に、ご家族様と意見交換会を行い、要望を聞きながら運営状況や現状について話し合う。	1年間
2	49	地域の人と協力しながら地域の行事に参加することが不十分である。	ご本人の懐かしい場所や行きたい所、近隣への散歩など時間に都合をつけて、少しでも外出の機会を作る事からはじめ、地域の行事を意識した外出への支援を図る。	市の外出への支援、ボランティアなど運営推進会議で確認しながら資源を探り、地域の老人会会長さんにもお話を聞き、外出できるようにあらゆる調整を図っていく。	徐々に
3	33	重度化した場合の支援のあり方について方針に基づく具体的な内容が不十分である。	出来る限りホームでの生活を望まれる家族の意向を実現する。	看取りについて外部研修にも出来るだけ参加し、ホーム内の終末期ケアの研修を持続して行う。	徐々に
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。